

最近の管内経済概況

(2021年12月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、
持ち直しの動きに弱さがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、持ち直しの動きに弱さがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数は同数、負債総額は減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2022年2月14日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2022年2月現在)

発表月	2021年9月	10月	11月	12月	2022年1月	2月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	低迷している	低迷している	低迷している	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	
公共工事	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	
住宅建設	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数は減少、負債総額は増加している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数は増加、負債総額は減少している	件数は同数、負債総額は減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

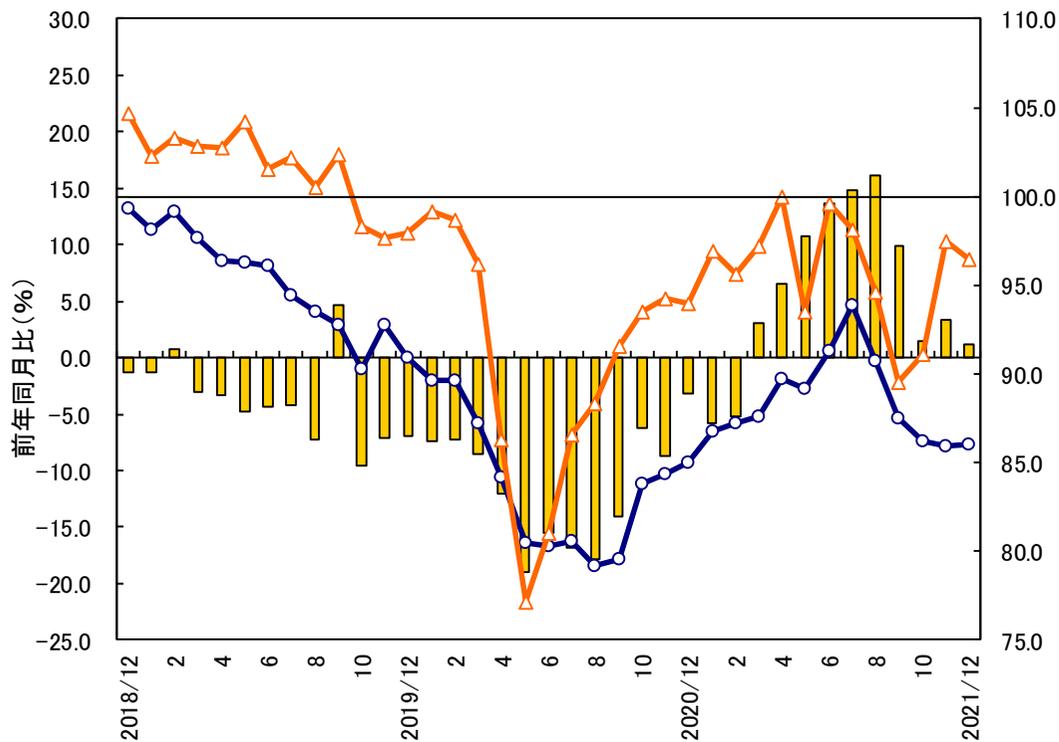
上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 弱い動きがみられる ～

12月の鉱工業生産は、前月比+0.1%と5か月ぶりに上昇した。前年同月比は+1.2%と10か月連続で上昇した。上昇業種は、輸送機械工業など6業種となった。低下業種は、金属製品工業など9業種となった。

<12月>	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	86.0 (前月比+ 0.1%)
全国 (速報)	96.5 (前月比▲ 1.0%)

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



■ 前年同月比(原指数) ● 指数(北海道)季調済 ▲ 指数(全国)季調済

【ヒアリング内容】

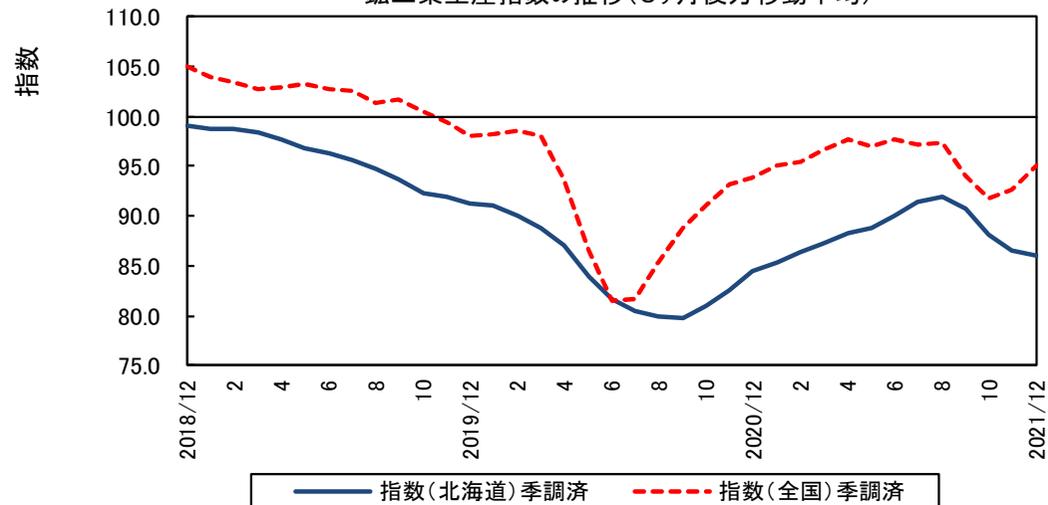
○上昇業種

- ・受注が増加したことから、一般機械の生産が増加した。(一般機械工業)
- ・建築向けの需要が増えたため、窯業・土石製品の生産が増加した。(窯業・土石製品工業)
- ・東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う部品供給不足の影響が緩和し、自動車部品の生産が増加した。1月以降は国内での感染が再拡大しており、先行きは不透明。(輸送機械工業)

○低下業種

- ・複数の大型案件が終了に近づいてきたことから、鉄骨の生産が減少した。(金属製品工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



— 指数(北海道)季調済 - - - 指数(全国)季調済

(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

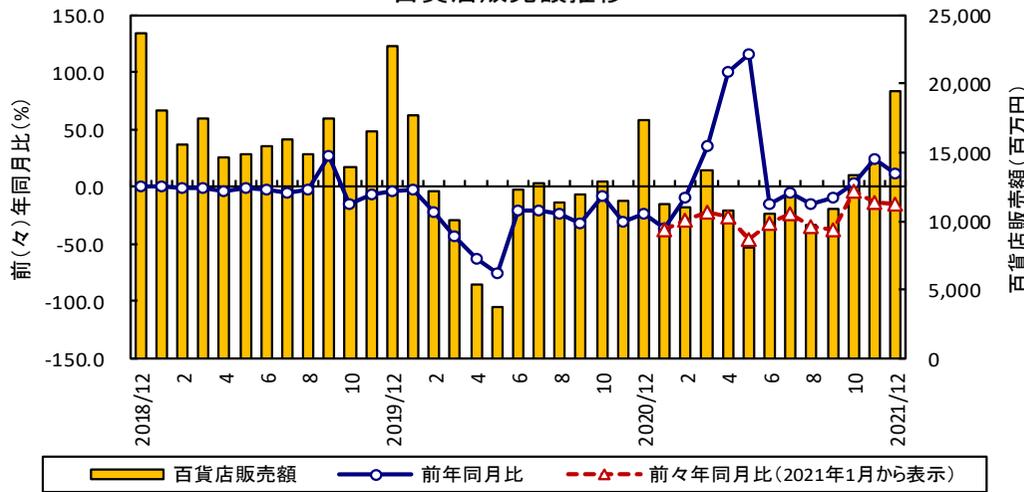
個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

12月の個人消費は、スーパー、家電販売、新車販売は前年を下回ったものの、他の4業態は前年を上回った。

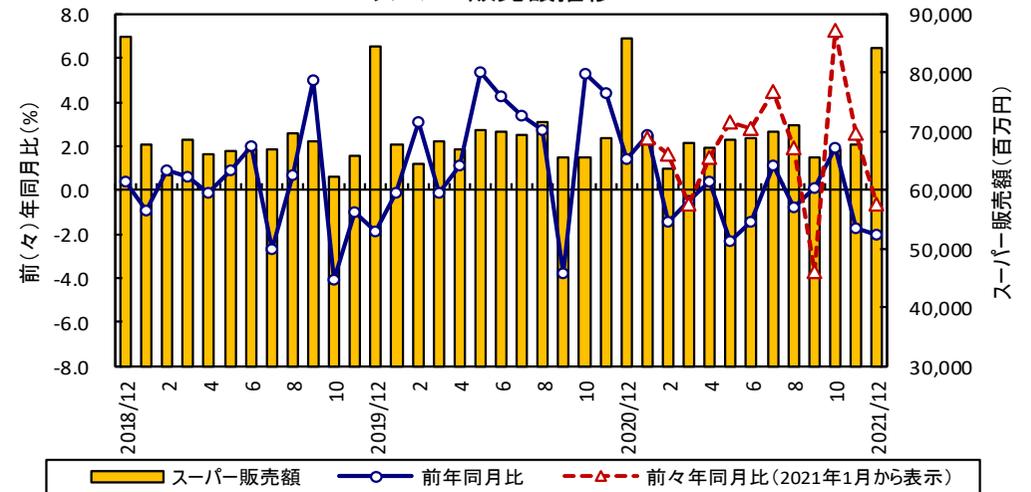
※前々年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、客足が好調だったことから、全体的に売上が良く、前年同月比+12.4%（前々年同月比▲14.4%）と3か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、衣料品などの売上が好調だったものの、前年同月の巣ごもり需要の反動減から、飲食料品が減少したことにより、同▲2.0%（同▲0.6%）と2か月連続で前年を下回った。
- コンビニエンスストアは、同+2.9%（同▲0.5%）と2か月連続で前年を上回った。

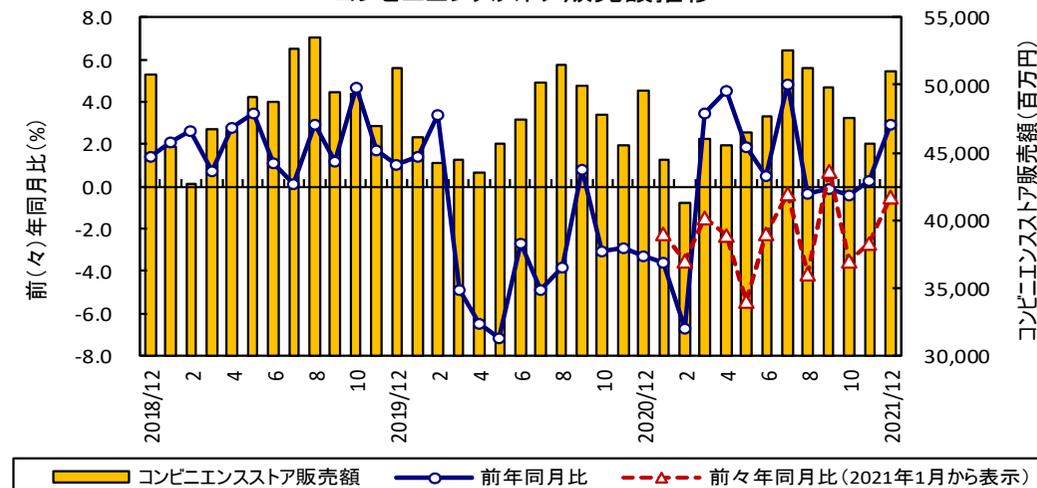
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



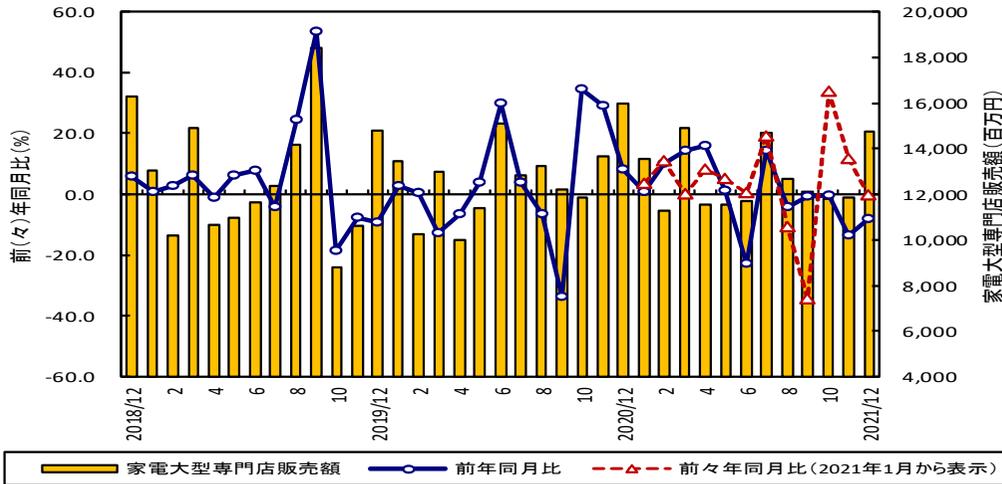
※2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

【ヒアリング内容】

- クリスマスイブが週末と重なったことなどもあり、客数が伸びた。コートなど冬物衣料のほか、クリスマスケーキなどの売上が好調だった。（百貨店）
- 飲食料品については、お寿司など帰省需要向けの商品はよく売れたが、巣ごもり需要が高まっていた前年同月の売上には及ばなかった。（スーパー）
- 繁華街店舗の売上が、新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準まで回復し、特に二日酔い対策のドリンク類の売上が良かった。ただ、忘年会などが1次会で終わるケースが多いためか、遅い時間帯の売上はそれほど伸びていない。また、地域を跨ぐ移動が増えており、観光地店舗の売上が回復傾向にある。（コンビニエンスストア）

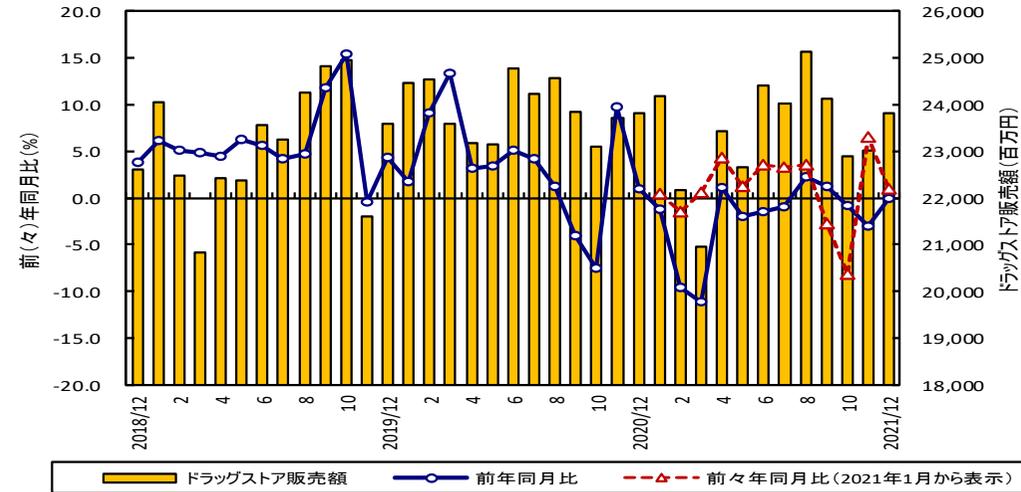
- 家電販売は、同▲7.9%（同▲0.4%）と5か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+0.0%（同+1.0%）と3か月ぶりに前年を上回った。ホームセンターは、同+0.4%（同+7.9%）と2か月ぶりに前年を上回った。
- 新車販売は、同▲7.7%（同▲0.8%）と6か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



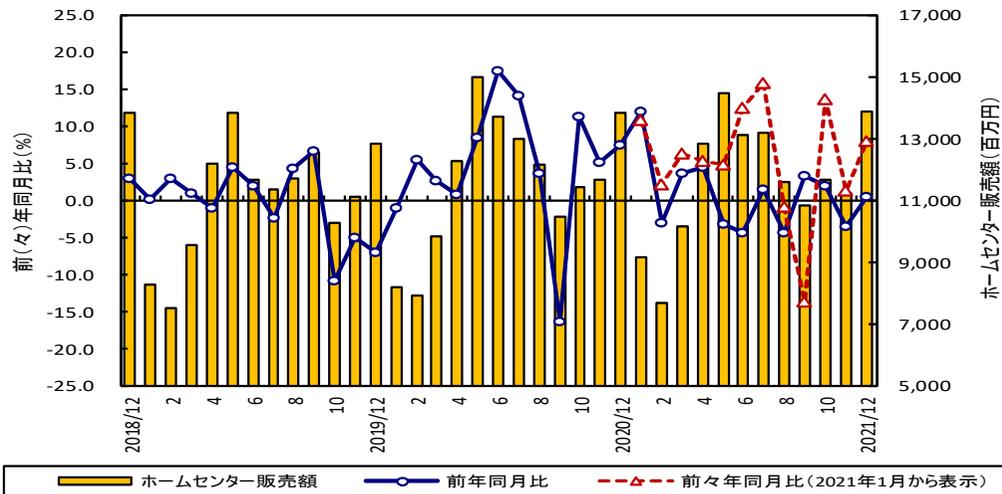
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



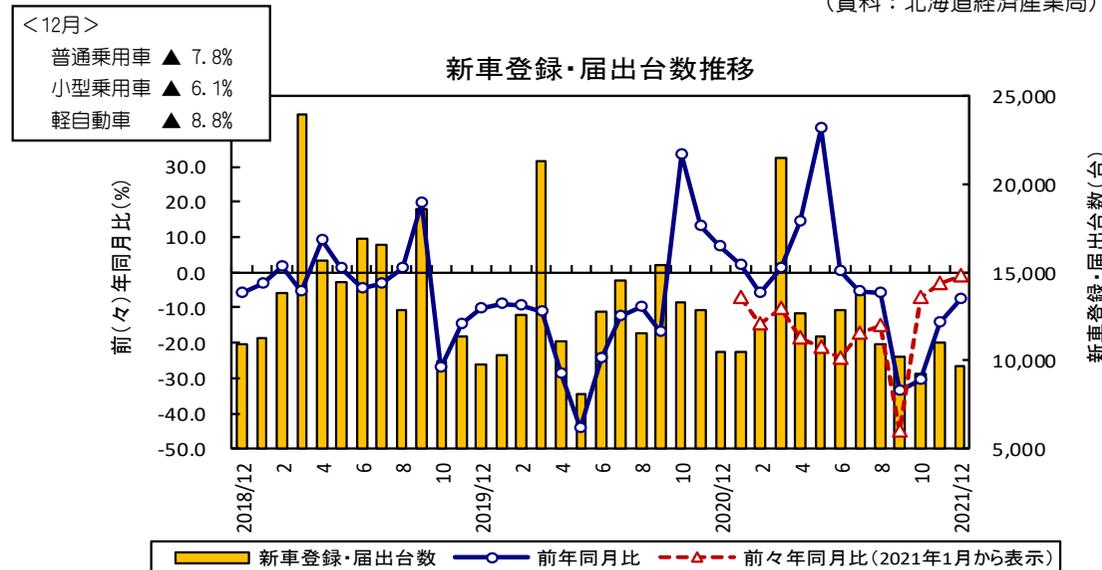
(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

新車登録・届出台数推移



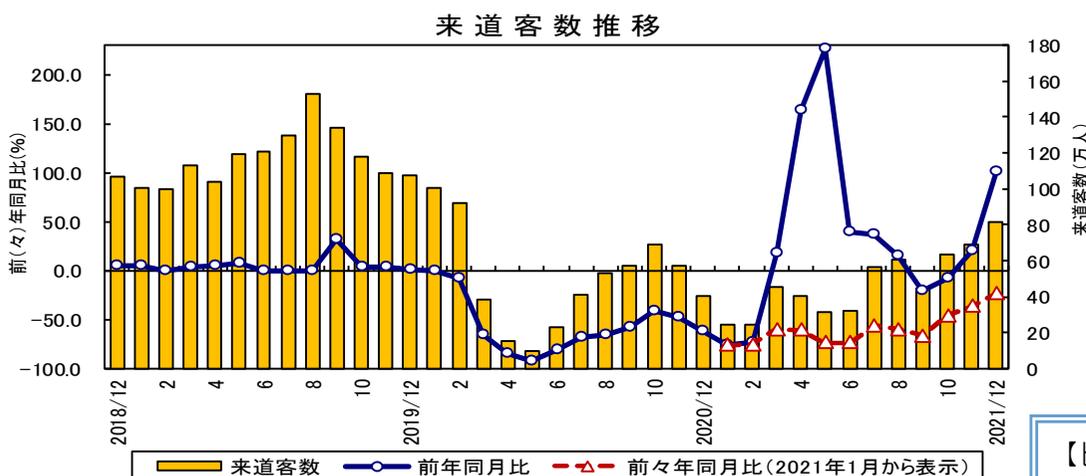
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- 冷蔵庫や洗濯機などの売上は良かったものの、大型テレビや空気清浄機など、前年好調だった多くの商品が、前年を下回った。（家電大型専門店）
- 価格が落ち着いてきたマスクなど衛生用品や食料品などの売上が前年よりも落ちている一方で、化粧品は良くなってきている。ハンドクリームやカイロなどの季節商品は、前年並みだった。（ドラッグストア）
- 12月中旬以降の大雪の影響で、スコップなど除雪関連用品の売上が良かった。また、灯油価格が高値で推移している影響か、断熱シートなど省エネ対策用品の売上が、前月に続き好調だった。（ホームセンター）

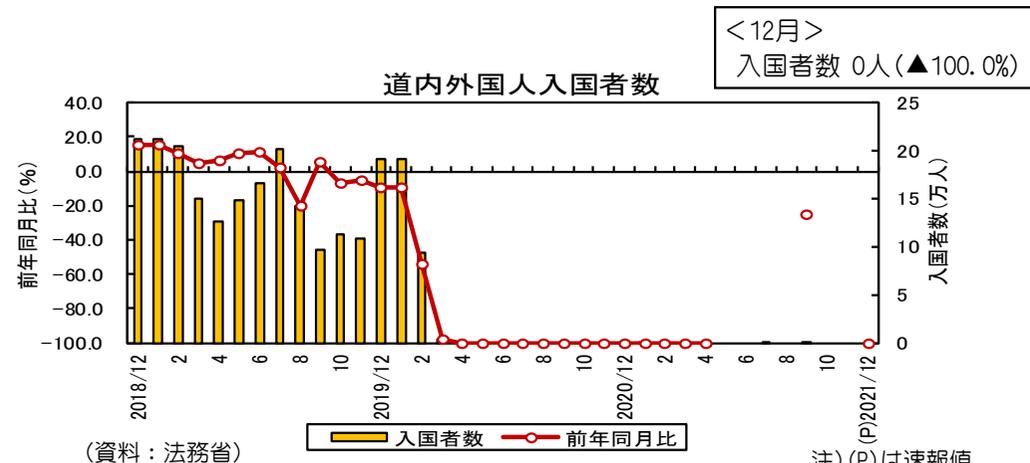
観光 ～ 一部に持ち直しの兆しがみられる ～

12月の来道客数は、前年同月比+101.4%（前々年同月比▲23.8%）と2か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、0人であった。



<12月> 来道客数 816,804人 (+101.4%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



(資料：法務省)

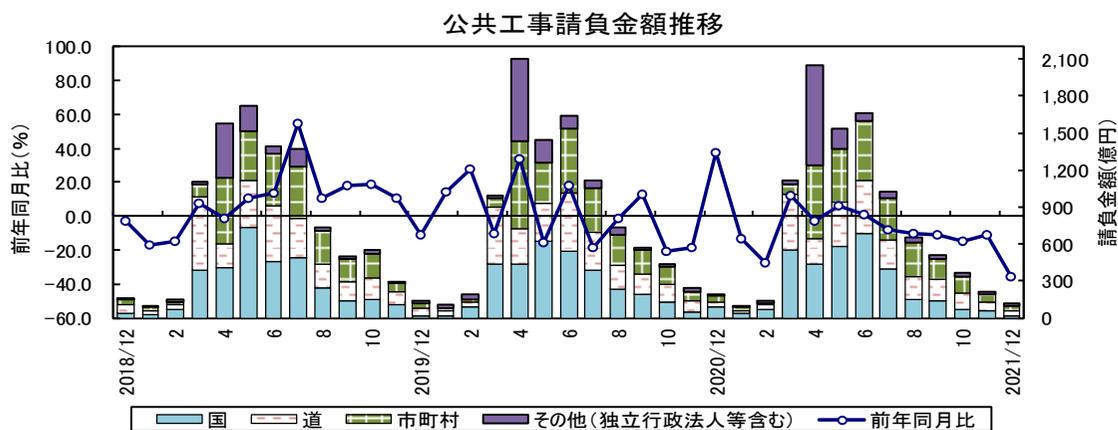
注(P)は速報値

【ヒアリング内容】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた前年同月と比較すると、12月は、観光客数、宿泊施設の稼働率ともに回復傾向にあった。年始までは回復傾向が続いていたが、1月中旬にかけて観光客が減り始め、北海道におけるまん延防止等重点措置の適用が決まると、休館となる宿泊施設も出始めた。(関係機関)

公共工事 ～ 減少している ～

12月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を下回り、前年同月比▲35.8%と6か月連続で前年を下回った。



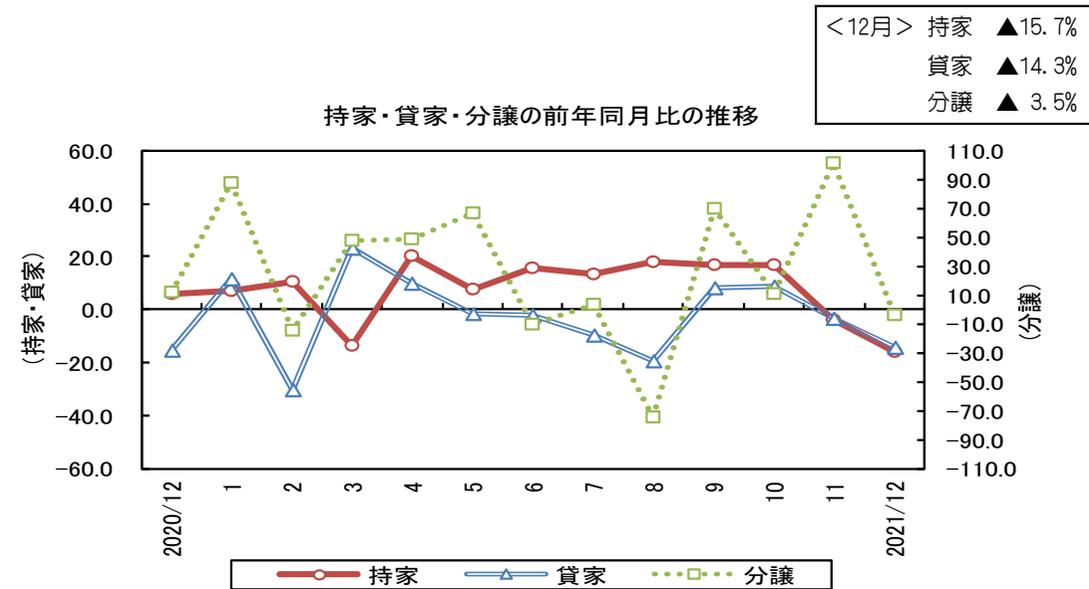
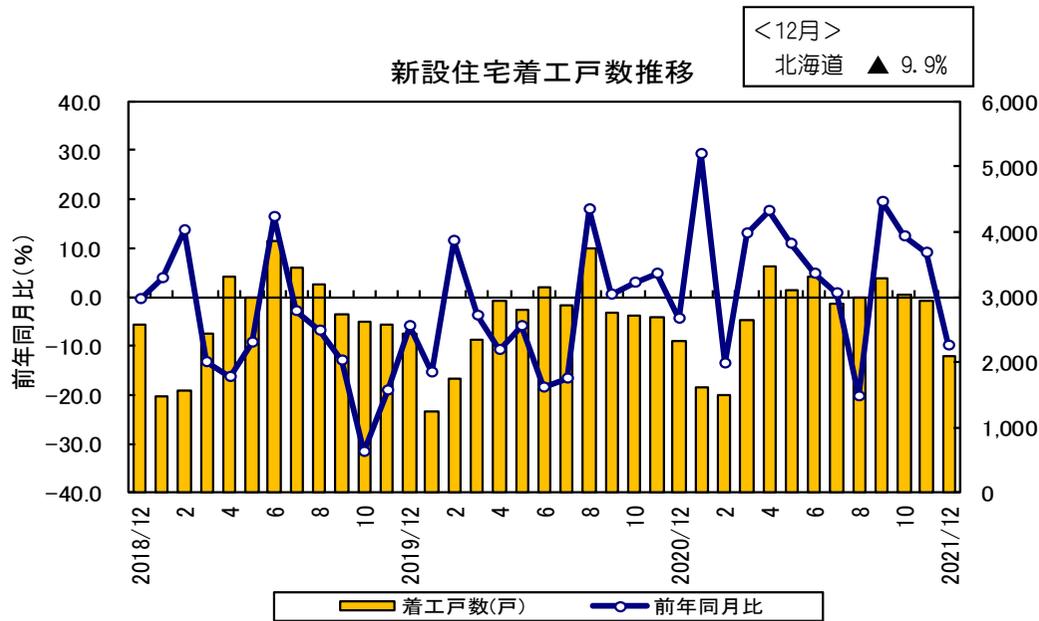
<12月>
 北海道 ▲35.8%
 (内訳)
 国 ▲76.9% 道 ▲16.9% 市町村 ▲22.3% その他 +143.6%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

12月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の全てで前年を下回り、前年同月比▲9.9%と4か月ぶりに前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比+6.9%と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年12月13日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 19.9%	+ 6.9%
製造業	▲ 4.0%	▲ 21.7%
非製造業	▲ 27.5%	+ 25.1%
全国	▲ 8.5%	+ 7.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年12月9日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	+ 14.1%
製造業	▲ 17.7%	▲ 24.8%
非製造業	▲ 2.9%	+ 33.8%

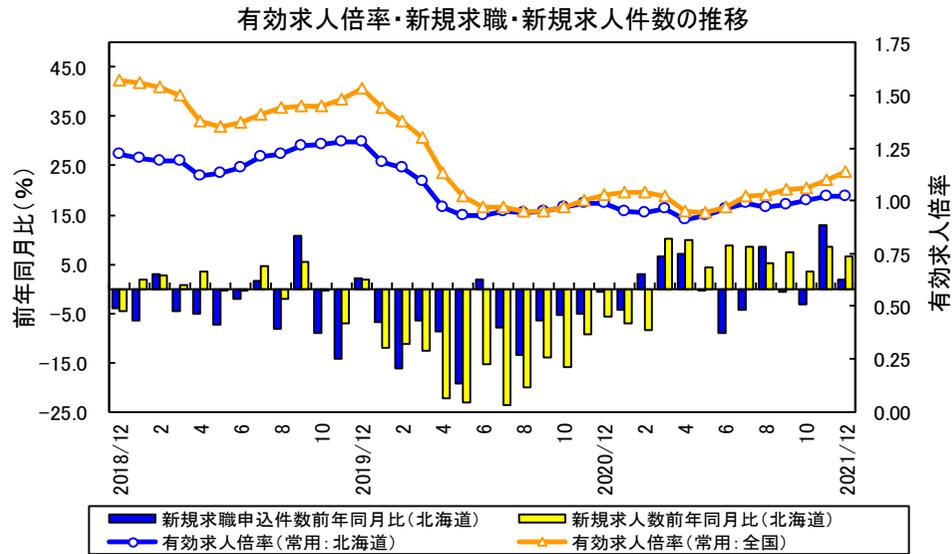
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

12月の有効求人倍率は、1.02倍と前年同月差0.03ポイント上昇し、7か月連続で前年を上回った。

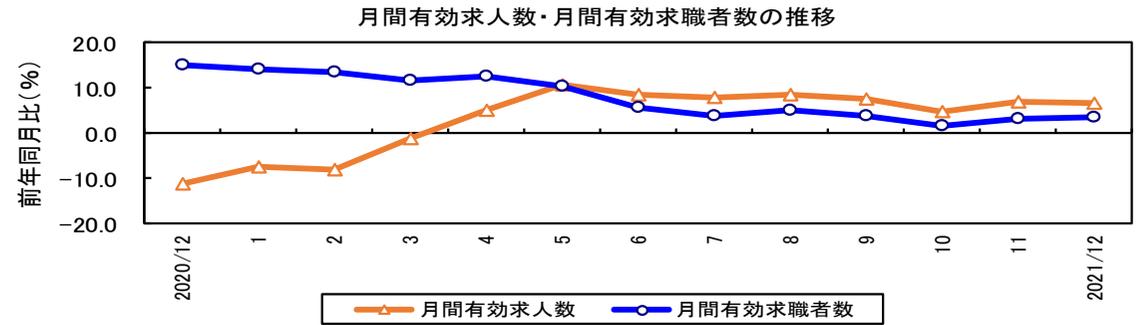


<12月>

北海道	有効求人倍率(常用)	1.02倍
	新規求人数(前年同月比)	+ 6.6%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+ 1.7%
全国	有効求人倍率(常用)	1.14倍

<12月>

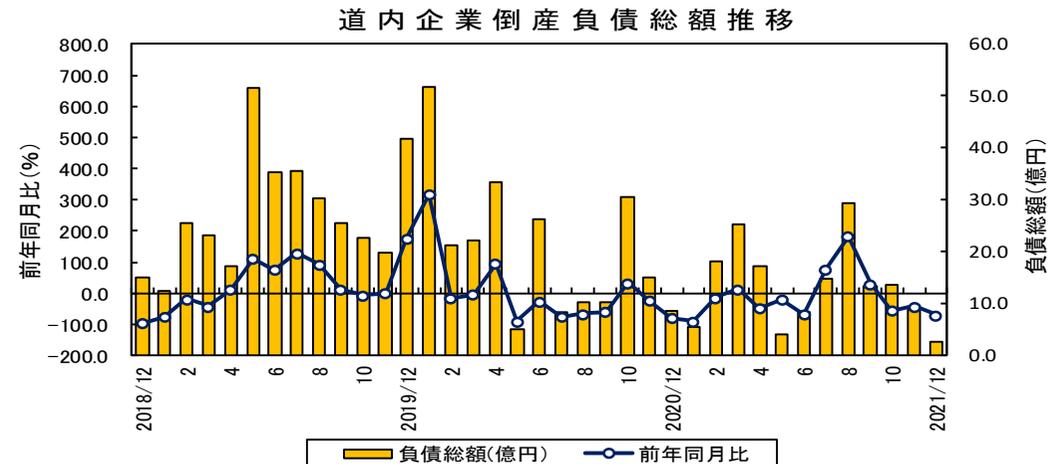
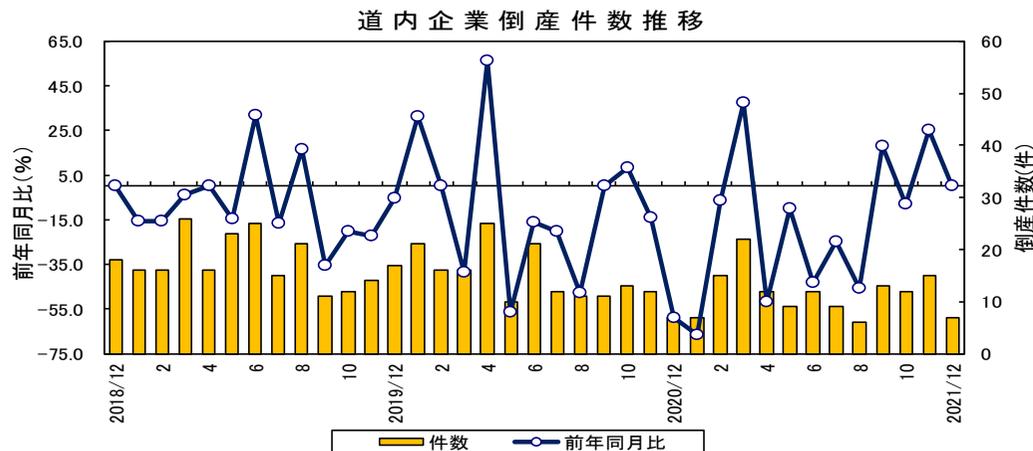
月間有効求人数	(前年同月比)	+ 6.8%
月間有効求職者数	(前年同月比)	+ 3.5%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数は同数、負債総額は減少している ～

12月の倒産件数は7件で、前年同月と同数となった。また、負債総額は2.7億円で、同▲68.9%と3か月連続で前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)